

(法第 28 条第 1 項関係様式)

平成 23 年度事業報告書

(平成 23 年 6 月 28 日から平成 24 年 3 月 31 日)

特定非営利活動法人 みやざき教育支援協議会

1. 事業の成果

平成 23 年度は設立当初ということもあり、NPO 法人の研修会や各地各団体との情報交換に力を注いだ。

事業活動については、従来から続けている教育 ICT 研修会を中心に、学校現場での ICT 研修会や宮崎県高等学校教育研究会普通教科「情報」部会研修会の支援などを行った。参加者は学校の教職員だけでなく、企業も含め一般社会人にも広がりつつある。

宮崎の教育の情報化を推進する上からも ICT 支援員の育成と派遣は重点項目であるが、準備不足や教育現場への案内不足もあり、未実施であった。今後、他県の実績ある大学や NPO 団体との連携を図りながら、取り組んでいきたい。

広報活動については「メスカジャーナル」の発刊が 1 回のみ終わった。役員、会員の協力を得ながら、定期発行に向けて努力していきたい。

現在、教科書会社や教材コンテンツ制作会社と協働事業で、デジタル教科書ガイド制作を行っている。学校現場の教職員の協力を得ながら進めているが、専従職員の不在で連絡、連携が不十分であり、協働事業の調整の難しさを実感している。

キャリア教育の一環として「リアル熟議 in みやざき」を高等教育コンソーシアム宮崎との共催で開催した。宮崎では初めてということもあり好評であった。この事業は次年度も継続して取り組んでいきたい。

スタッフ不足、予算不足、専従職員不在という課題があり、今後、他団体との連携を視野に入れながら、事業活動を展開していく必要がある。

2. 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 教育の情報化を図る調査研究活動

ア 教育 ICT 研修会（結果公表については、毎回、その内容を Web サイトに掲載）

- 1 回 5 月 11 日(水)

美術授業における ICT 活用、横瀬勝彦氏(宮崎市立生目中学校)、参加者 20 名

- 2 回 7 月 13 日(水)

学校 ICT を支えるネットワーク、長田徹氏(アライドテレシス社)、参加者 20 名

- 3 回 9 月 14 日(水)

ICT 活用失敗学、村上啓一氏(都城西高等学校)、参加者 12 名

- 4 回 11 月 9 日(水)

学校図書館蔵書管理について、原田浩文氏(津江書店)、参加者 18 名

- 5 回 1 月 11 日(水)

携帯端末を使った授業の取組、田爪孝明氏(宮崎北高等学校)、参加者 18 名

- 6 回 3 月 14 日(水)

新教育ネットひむかの概要について、江川龍彰氏(県教育研修センター) 参加者 8 名

イ ICT 支援員講習会（未実施）

② 教育現場の情報化を支援する活動

ア ICT 支援員派遣（未実施）

イ 学校図書館蔵書管理支援（未実施）

ウ 宮崎県高等学校教育研究会普通教科「情報」部会研修会支援

- 実施時期 平成 23 年 9 月 22 日
- 対象者 県内高等学校教科「情報」担当教諭（参加者 22 名）
- 実施内容 ICT ツール(WIVIA、Z!BootOS、ThinkBoard)の紹介
- 結果公表 Web サイトに掲載

③ 文化交流事業

ア 広報活動

- 発行時期 平成 23 年 10 月 1 日
- 対象者 県内高等学校、大学、県教育委員会などに配布
- 実施内容 情報誌「メスカジャーナル」

イ 宮崎市防災支援システムの構築（宮崎公立大学ネットワークゼミとの共催）

- 実施時期 平成 23 年 11 月 25 日
- 対象者 西池小学校、宮崎中央西地区公民館、ボランティア団体
- 実施内容 「ストリートウォッチング in 中央西」に参加
- 結果公表 Web サイトに掲載

ウ デジタル教科書ガイド制作

- 実施時期 平成 23 年 11 月～（次年度も引き続き進行中）
- 実施内容 教科書会社、教材コンテンツソフト会社との協働事業
- 成果物 デジタル教科書ガイドCDを予定

エ 「リアル熟議 in みやざき」（高等教育コンソーシアム宮崎との共催）

- 実施時期 平成 24 年 3 月 3 日
- 対象者 高校生、大学生、教職員、一般社会人（参加者 120 名）
- 実施内容 公募型卒論発表会、グループ討議
- 結果公表 Web サイトに掲載